

被災地の現在とキリスト者の責任



未曾有の大地震が起き、二年が経とうとする中、日本社会と被災地の現実との乖離は、現実には苦悩する被災者の存在を一層苦境に追いやっています。被災地の現場に立って働き続けてこられた川上直哉氏を迎え、福音を委ねられたキリスト者の責任を問い直す時をもちます。

■講師：川上直哉

北海道に牧師の息子として生まれる。1992 年立教大学文学部キリスト教学科入学。神学博士。1998 年から約 5 年間、東京基督教大学に寮務課寮務係として奉職。現在、東北学院大学・仙台白百合女子大学・尚絅学院大学非常勤講師、日本基督教団仙台市民教会主任担任教師、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク（東北ヘルプ）事務局長他。



レスポナント 西岡義行： 東京聖書学院教授、東京ミッション研究所総主事、JHC 下山口教会牧師

■日時： 2013 年 2 月 25 日（月）午後 2 時半～

■場所：お茶の水クリスチャンセンター
4 階 416 号室 〒101-0062
千代田区神田駿河台 2-1
Tel:03-3296-1001

■参加費： 無料
※当日席上自由献金があります
※申し込みは不要です。会場に直接お越し下さい。詳しいお問合せは下記まで。

■主催： 東京ミッション研究所（TMRI）
後援 JEA 震災対策室、日本ローザンヌ委員会

